

ラウンドテーブルしが（対話の場） しが協働ル～ム（議論の場）

| | |
|-----|-------------------------|
| 世話人 | 阿部圭宏氏・鬼塚孝治氏・谷 祐治氏・仲野優子氏 |
| 県行政 | テーマ関係所属 |
| NPO | その都度公募 |

課題認識

- ・NPOと県行政の協働を推進するためには、双方が対等に意見交換や協議ができる場が必要である。
- ・まず第1段階として互いの違いや考えを知るための大きなテーマ設定をした「ラウンドテーブル」と、第2段階として具体的な取り組みについて議論する「協働ル～ム」の両輪の仕組みが必要である。

目 標

- 「ラウンドテーブルしが」
 - ・双方の理解が進むことにより、意識改革や協働事業の気運醸成を行う。
- 「しが協働ル～ム」
 - ・NPO、県行政双方からの申し出により、具体的な協働事業を創出する。

成 果

- 「ラウンドテーブルしが」
 - ・県湖沼水質保全計画、県生涯学習基本構想等への反映、スポレク実行委員会立ち上げ、都市農村交流対策事業（グリーンツーリズム）施策への展開等が図れた。
- 「しが協働ル～ム」
 - ・不登校児への学習支援、外国人への情報提供、琵琶湖の水質改善等の事業について話し合いを行った。

課題対応

- 「ラウンドテーブルしが」
 - ・県庁での開催が多く、他の地域で制度が活用されていない。
H19 複数振興局で開催予定
- 「しが協働ル～ム」
 - ・ラウンドテーブルから協働ル～ムへのステップがなく、制度が活用されていない。
H19 ラウンドテーブルで個別案件につながるテーマ設定を行う予定。(例：協働の委託契約のあり方 ひな型策定)

実施回数

| | | |
|-----|--------------|-----------------------|
| H17 | 「ラウンドテーブルしが」 | 7回開催（参加：NP061人・行政34人） |
| | 「しが協働ル～ム」 | 7件協議（申出：NP06件・行政1件） |
| H18 | 「ラウンドテーブルしが」 | 6回開催（参加：NP057人・行政32人） |
| | 「しが協働ル～ム」 | -回協議 |
| H19 | 「ラウンドテーブルしが」 | 8回開催予定 |
| | 「しが協働ル～ム」 | 4回協議予定 |